

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・住み慣れた地域で安心した暮らし。	これまでの理念の見直しをし、地域密着型サービスに心掛ける。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・カンファレンス、ミーティングでは、理念の確認をしながらの話し合いを持っている。 ・理念に基づいたサービス提供に心掛けるよう職員間で注意しあっている。	これからも続けていきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・新聞に必ず載せ読んでもらっている。	ホーム便りを楽しく見ていただける内容にしていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩、買物などにでかけ、声を掛け合ったり挨拶を交わしたりしている。 ・野菜のどの差し入れやら、お話をしに来られる方もいる。	輪を少しずつ広げていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・保育園など訪問し、交流を持っている。 ・声を掛けて頂ければ出来るだけ協力する様にしている。	地域行事にも出来るだけ参加させていただけるようお願いする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受入を行っている。 ・ボランティア体験などの受け入れ(中学生)を行う。 ・講演会など開催している。 	<p>認知症ケアの啓発に努めたい。</p>
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、全員で行っている。結果を踏まえ、改善努力するようにしている。 	<p>改善だけでなく、更に向上できるよう努力したい。研修も積極的に行う。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見をもらい、サービス向上に活かしている。 ・地域の方々との話し合いが出来、ホームの状況報告(ホーム便り)配布できている。 	<p>続けていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム行事などに声をかけ参加していただいている。 	<p>行き来する機会を増やしていきたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加し、理解を深めている。 ・研修会の報告をし、学習するようにしている。 ・必要な人に活用できる支援は余り出来ていない。 	<p>学習会の実施を多くしたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス、ミーティングなどの折必ず話題にするようにしている。 ・研修会への参加も行っている。 	<p>職員間で注意し合える体制作りに心掛けたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・説明を丁寧に行っている。</p>	<p>続けていきたい。 ターミナルに関しては、その都度話し合いを持ちたい。(家族の不安を持たせないように)</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・普段の会話の中から感じ取ったり話してもらったりしている。その意見などを運営に反映している。</p>	<p>利用者の言葉や態度を見逃さないように心掛ける。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月の請求書送付時にホーム便り、記録のコピー、写真などを同封し報告している。 ・出納帳を来所時にサインしていただく。若しくはコピーを送付している。</p>	<p>続けていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・来所時や、連絡の時など、何でも話していただけるようにしている。 ・出された意見はミーティングなどで伝え話し合いを行っている。</p>	<p>続けていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・ミーティングや日常の会話の中からも意見で聞くようにしている。また、話し合いに反映させている。</p>	<p>機会を増やしたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・そのときの状況に応じ柔軟に職員の配置等対応している。</p> <p>・応援してくれるパートを確保している。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・新入職員の場合は、家族にもお知らせし、利用者へも紹介し、早く慣染んでもらえるよう努力している。</p> <p>・異動が少なく少なくすむよう努力する。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・研修会にはできるだけ参加するようにしている。</p> <p>・研修会の報告もし、資料などは、全員に見てもらおうようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・同法人の中での交流は行っている。(訪問などしてサービスの向上につなげている。)</p> <p>・連絡会などに参加し、他グループホームの見学を行っている。</p>	<p>他グループホーム見学をしたり、相互研修、事例検討会などに積極的に参加する。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・親睦の場をつくり、よい人間関係作りをしている。</p> <p>・なるべく話を聞ける雰囲気作りに心がけている。</p>	<p>これからも続けたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・各種学習会、研修会には積極的に参加させている。</p> <p>・資格取得のための支援を行っている。</p>		<p>日々の努力に目を向けていきたい。</p>
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・本人との面談の時、いろんな話をしながら、心身の状況、気持ちなど理解するよう努める。</p>		<p>本人と職員の関係作りに努力する。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族の求めていることなどよく聞くようにしている。</p>		<p>家族の状況を感じ取る。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・先ず必要としている支援の提案をしながらも、他のサービス利用も考え対応していくようにしている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・お試し利用などしてもらい、様子を見る。また、1～2回来所してもらっている。</p>		<p>訪問して少し馴染初めを持ってもらうようにする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者と共に過ごしなが、支援する、支援されるにこだわらず生活し、尊敬の念を忘れないでいる。</p>	
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・家族来所するときあるいは連絡したときに今の状況を伝える。情報をお互いに伝え合うことで同じ気持ちになれる。</p>	<p>家族との情報交換を密にする。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>・外出、外泊は、いつでも出来ることを伝えている。</p> <p>・ホームの行事に参加していただくようお願いしてある。</p> <p>・電話も掛けたいときはいつでも掛けていただいている。</p>	<p>続けていきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・外出し顔を見て話が出来るようにしている。</p> <p>・実家を見にドライブに出かける。</p> <p>・来所された折には、遠慮なく話が出来る環境作りに努めている。</p>	<p>馴染みの人との関係を途切れないようにしたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>・利用者の個性を見極め、トラブル回避に努め、支えあえるようにしている。</p> <p>・利用者同士で話が出来るように努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・対処された方に面会に行ったり、ご家族が来てくれたりしている。		外で顔を合わせたら、挨拶したり利用者さんの状況など聞かせてもらう。
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・生活の中で把握したり確認したりしている。 ・家族にも情報をもらうようにしている。		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・家族、関係者などから情報をもらっている。		続けていきたい。
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・その人の一日の生活リズムを崩すことなく、出来ることを維持しながら全体的に把握している。		センター方式の活用をその都度、定期的にしていきたい。
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・カンファレンスなどで職員全体の意見交換をし、アイデアを出し合い、アセスメント、モニタリングなど行っている。		続けていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		<p>記入の仕方の工夫もしていきたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		<p>家族との連絡も今まで以上に密にしていきたい。</p>
<p>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		<p>これまで以上に連携できるよう努力したい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		<p>宅幼老所の訪問なども行いたい。</p>

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>・運営推進会議に町職員が参加してくれており協力が受けやすくなっている。</p> <p>・研修会などの参加もしている。</p>		<p>協力関係を更に深めていきたい。</p>
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・家族同行の受診をしてもらっている。(不可能のときは、職員が代行している。)</p> <p>・協力医の訪問診療を受けている。</p>		<p>これからも続けていきたい。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・専門医などの受診が受けられていない。</p>		<p>認知症専門医の受診・相談を受けていきたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・看護職員を配置しており、日常の健康管理、医療活動の支援を行っている。</p>		<p>これからも続けていきたい。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・病院関係者との情報交換を行っている。</p> <p>・家族との相談、情報交換を行っている。</p>		<p>早期退院できるようアプローチしていきたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・その都度話し合いをし、家族の気持ちの変化等に注意しながら支援している。</p> <p>・職員全員で方針を確認し合っている。</p>		<p>重度化に対応し、話し合いを深め連携を取りたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・家族の意向を踏まえ、連携を取り、安心して納得できるよう随時確認しながら取り組んでいる。		家族・医師・職員が連携を取り、常に情報を共有したい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・細かな情報交換に心掛け、職員が訪問するなどしている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・日々の関わりの中で家族の尊厳を守ることを確認し合っている。		プライバシーを損ねない対応の徹底を図っていききたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・利用者に合わせた声掛けをし、表現されていると感じ取るようにしている。 ・自分で決められるように心掛けている。		利用者に合わせる事が第一であることの徹底を図りたい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その人のペースで一日を過ごしている。(散歩、お茶、歩きたいとき・飲みたいときにしていただいている。)</p>		<p>一日の時間の流れの中で、柔軟に対応している。これからも続けていきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・美容院に出かけたり、来所してもらっている。</p> <p>・化粧をたまにはして出かけるなどしている。</p>		<p>本人希望の髪形、長さにしてもらっている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・お茶、食事の準備、片付けなど職員と一緒にしている。</p> <p>・食べるものも同じテーブルで、同じ物を食べている。</p>		<p>献立も利用者の意見を入れて立てていきたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・「ほしい」といわれれば、ある程度の範囲内で差し上げ食べてもらっている。</p>		<p>本人の希望に応えていきたい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・排泄チェック表を使用し、出来る限りトイレでの排泄が出来るよう支援している。</p>		<p>出来る限りつづけていきたい。</p>

グループホームまんでん

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・時間帯は出来る限り努力している。 ・希望で毎日入浴している方もいる。		希望の時間帯に入浴に答えていきたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・一人一人休息できるよう支援している。 ・居間の畳で休んだり、居室などで休んでいる。		継続していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・得意なことをお願いしながらやってもらっている。 ・気晴らしに外出など楽しんでいる。		継続していきたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・自分での管理は難しいので、ホームで管理しながら、必要なとき使っている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・日常的に戸外へ出かけ、外の風、空気、太陽の光を浴び季節を感じてもらっている。		継続していきたい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>・希望に応じて外出をしている。</p> <p>・計画し職員体制を整え外出している。</p>		<p>家族も同行した外出にも取組みたい。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>・電話は、希望に応じてしてもらっている。</p> <p>・年賀状など書いている。</p>		<p>継続していきたい。</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>・居室でお話したり、希望通りにし、お茶を飲みながらゆったりとおはなししてもらっている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>・ミーティング、カンファレンスなどで常に身体拘束しないことを確認している。</p> <p>・研修会などにも参加している。</p>		<p>重度化にすると、安全面で心配はあるが、出来る限り継続していきたい。</p>
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・玄関から出られる時さりげなく同行し見守りを行っている。</p> <p>・かぎは掛けず自由に行動できるよう支援している。</p>		<p>継続していきたい。</p>

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>・居間で利用者と共に過ごし、安全の把握を行っている。</p> <p>・夜間は提示の巡視を守り、常に目の届くところにいるようにしている。</p>		<p>死角となる場所を作らないように努める。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>・一人一人の状態に応じて対応している。</p> <p>・薬については管理している。</p>		<p>状態の把握に心掛ける。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>・ヒヤリハットなど活用し、事故防止に取り組んでいる。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>・応急手当、救命講習など定期的に行っている。</p>		<p>継続して行っていく。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・訓練を計画的に行っている。</p> <p>・地域の人々の協力をお願いしている。</p>		<p>地域の人々と共に訓練する。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>・起こり得るリスクについては、家族にお話ししてある。</p> <p>・状況変化を職員も話し合っている。</p>		<p>リスクばかりを考えない対応をする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体調変化を見逃さず、看護師、医師などに報告し対応する。 ・情報の共有を確実にしている。 	<p>継続していく。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の表などにより理解するようにしている。 ・変化などは確認し、記録して報告している。 	<p>医療連携を確実にを行う。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の工夫を栄養士の指導のもと行っている。 ・出来るだけ歩行にも心掛けている。 ・排泄表を記録している。 	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア指導を受けている。 ・毎食後状態に応じた支援を行っている。 	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士による献立で、バランスよく摂取している。 	<p>水分量の確認をする。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・マニュアルなど利用し対応している。 ・インフルエンザ予防接種は全員受けている。 ・ペーパータオルなど使用している。		アルコール消毒など心掛ける。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・まな板、付近などは、漂白消毒している。 ・計画的に食材の買物を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・ベンチ、テーブルなど置き、休める場所作りを行っている。 ・段差なくし、スロープ、手すりなど取付けている。		花壇の花を四季が感じられる物に心掛ける。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・生活感が感じられるよう心掛けている。(音、におい、光など) ・季節感を採り込む。		継続していく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・長いすを置き、話をしたり休むがことが出来る様に心掛けている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人のなじみのものを持参し置いたり、利用できるようにしている。 ・タンス、ベッドの位置も本人の希望にこたえている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・換気に注意し、トイレ、居室など24時間配慮している。 ・温度調節はこまめに、窓を開けたり、エアコンを入れたりして対応している。		継続していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、トイレ、浴室などに手すりをつけている。 ・段差も極力無くすよう心掛けている。		重度化した状態を考慮していく。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・同じ事を聞かれても、何回でも答え対応している。		自立し続けられるよう支援する。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・外周を安全に歩けるようにしている。 ・疲れたら休めるよう、ベンチ、いす、テーブルなど配置している。 ・畑があり、出来る方には、草取り、収穫なども行っていただいている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に をつけること)	
項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	

グループホームまんでん

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

いつも笑顔で笑い声が絶えないそんな生活をしていただけるよう支援させていただいております。自然の中で季節の風を肌で感じていただけるよういろんな取り組みをしております。(野菜栽培 花栽培 庭の手入れなど)